

市議団の新年度予算に対する要望書に回答

チ 備 建設中の新東名スマートインターチェンジ



磐田市北部の産業の活性化を図るため、新東名高速道路に連結する（仮称）新磐田スマートインターチェンジを2018年6月から工事に着手しています。当初の予定では、2017年度に供用開始予定でしたが、2020年9月供用に向け道路築造工事を行っています。総事業費は、約44億円で、その内磐田市の負担は約19億円です。周辺の整備を行い、さらに利用しやすいスマートインターチェンジにしてほしいとの声も出されています。

JR御厨駅は袋井駅から西に4・6キロ、磐田駅から東に3・2キロの鎌田地内に3月14日開業に向けて建設中です。

駅舎は橋上式で、ホームは2面2線。駅の南北をつなぐ自由通路があり駅舎に2基、自由通路に3基のエレベーターを設ける予定です。駅舎と自由通路の総事業費は、49億円、その他工事を含めると約68億円の工事になります。登り用のエスカレーターは後に設置する予定になっていますが、市下りのエスカレーターの設置も望む声が出ています。

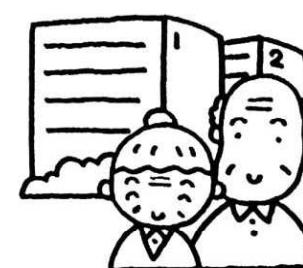




建設中のJR御厨新駅

JR新駅・新東名 スマートインターフェース建設中

豊田地区の小中一体校、 (仮称)磐田市文化会館建設中



- 被災者生活再建支援法の助成対象外となつている「一部損壊」「半壊」住宅に対する、市独自の住宅再建支援制度を創設されたい。

日本共産党磐田市議団は、昨年の11月19日に「2020年度磐田市予算編成に対する要望書（86項目）」を渡部修磐田市長、村松啓至教育長、鈴木昌八市立総合病院事業管理者に提出しました。当局より要望書に対する回答が1月28日にありました。

市議団の要望書に回答

2020.2.2
N O. 2088
政治革新の道しるべ。
真実つたえ希望はてぶ

日本共産党
磐田市委員会
磐田市加茂川通り
6023-1
TEL35-1013
FAX35-2811

生活相談所
ねづ康広
大藤笠梅 167-1
38-0708
高梨とひろ
国府台 648-1
32-2319

アミューズ豊田南側に建設中の (仮称)市民文化会館



し、市民の交流の場として活用できる計画です。交通機関の整備は、新たにアミューズ豊田をデマンド型乗合タクシーの全地区共通の指定施設に追加し、イベント時における豊田町駅からの移動手段などの検討もしていくことです。

(仮称)磐田文化会館は、アミューズ豊田南側に総工事費約60億円をかけて、2022年4月開館予定で建設中です。1階席約1000席、2階席500、合わせて約1500席の多目的ホールです。

から2020年度にかけて建設工事が行われ2021年4月開校を目指しています。総工事費は約60億円（既存施設の解体、外構・グラウンド整備など含む）で、校舎棟（普通教室31学級、特別支援教室4学級など）体育館棟、図書館、共同調理場などが建設されます。小中一体校については、様々な意見がある中で進められています。一体校開校後の検証が必要であると考えます。



豊田中学に建設中の学府一体校